

## 第8回 豊島区都市計画マスタープラン改定検討委員会の主な意見（抜粋）

### <まちづくり方針の構成>

- まちづくり方針では、8つの方針それぞれで方針を記述しているが、似たような項目は一つにまとめるという方法もある。
- 無理に8つの方針を埋めようとせずに、地域の特色を出していくのであれば、いくつかの方針が一緒でもよい。
- 同じ地域内でも各方針で、同じような内容が出てきているので、一つにまとめるなど工夫ができないか。

### <個性ある地域像・まちづくり方針>

- いくつかの地域で「災害に強いまちづくり」というタイトルとなっているが、池袋東・池袋西地域は、居住者人よりも来街者に対する防災を強く記述している。それが分かるように、記述内容のキーワードがタイトルにあるとわかりやすく、地域の個性が出る。
- 地域像や各方針のタイトルを比較すると、地域毎の特色が出ていない。各地域の個性を持たせられないか。
- 各地域の方針に固有名詞が入っていたり入っていなかったりする。地域の特色を出すには固有名詞が入っていた方がよい。

### <池袋副都心の国際性>

- 東京都が見直している区域マスで、新宿や渋谷は「世界」、「国際」というキーワードが含まれているが、池袋はそうしたキーワードがない。池袋に世界や国際といったキーワードを書き込んでくれるかは別にして、区としての思い、方向性を都市マスで示していくにはチャンスである。

### <その他>

- 池袋西地域では、地元が頑張っって緑を増やすために取り組んでいる。地元の意気込みを方針の中に記述できるとよい。
- 東京都の関連施設が多く、その有効活用について何か触れられないか。